

平成23年度 農林水産部補正予算(一般会計)要求の概要

(単位:千円)

補正要求額	23年度累計額	22年度当初予算額	増減額	増減率
10,426,965	51,925,742	56,116,437	△ 4,190,695	△ 7.5%
うち公共事業 8,445,631	26,654,713	29,495,984	△ 2,841,271	△ 9.6%

I. 要求のポイント

1 農林水産業の構造改革と震災対応

【基本方針】

農林水産業では、TPP等経済連携協定について議論されるなど、国際化の進展を見据えた構造改革を推進する必要があります。

そのため、「The・おおいた」ブランドの確立に向けたマーケット起点の商品づくりによる競争力強化を図るとともに、力強い経営体の確保・育成を推進します。

また、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の家畜伝染病へ備えるとともに、東日本大震災による影響に対しては、施設整備や生産性の向上等により生産拡大を推進します。

(1)「The・おおいた」ブランド確立に向けた商品づくりの推進

市場ニーズに対応した農畜産物の生産拡大と県域流通対策を促進するため、マーケティング活動による販路開拓や更なる情報発信を進めるとともに、環境に配慮した栽培技術を推進します。

木材の効率的な加工体制の整備を推進するとともに、県外の大消費地や海外等の販路拡大により県産材の需要拡大を図ります。

県産水産物の付加価値向上のため県漁協ブリフィレ加工場を利用した加工品開発を進めるとともに、地域の適正に応じた貝類・海藻類の養殖や放流用種苗の生産を推進します。

(2)次代を担う力強い経営体づくり

力強い経営体の確保に向けて、各種就農促進活動や情報発信を積極的に行うとともに、就農希望者の受入・支援体制の強化や研修制度の充実、農業法人等の経営拡大を進めます。

集落営農組織の規模拡大により、水田農業の担い手の経営基盤強化を図ります。

大規模リース団地の設置などによる規模拡大や他産業からの企業参入を推進するとともに、広域集出荷施設の整備などを進め、力強い経営体の確保・育成を図ります。

肉用牛経営の規模拡大・一貫経営に向けた施設・機械整備を進め、高品質で省力的な経営を行う大規模経営体を育成します。

意欲ある林業認定事業者が取り組む高性能林業機械の導入等を支援し、木材生産の低コスト化を図ります。

人工ほだ場や椎茸乾燥機等の生産基盤の整備により、しいたけの生産拡大を図ります。

漁業後継者や中核的漁業者の資質向上による漁業担い手の総合的な育成を図ります。

(3)効率的で持続性のある生産基盤・環境づくり

イノシシ、シカ、サル等野生鳥獣による農林作物被害の軽減を図るため、予防及び捕獲対策を実施するとともに、農林業者自らが集落全体で取り組む被害対策活動を推進します。

水産資源の増大を図るため、資源管理強化型漁業を推進します。

(4)災害に強い県土づくりの推進

老朽化したため池について、改修工事等の実施による再整備を進めます。

治山施設の整備により土砂災害防止対策を推進します。

(5)感染症・伝染病対策の確立

口蹄疫・鳥インフルエンザをはじめとする家畜伝染病等の早期封じ込め・まん延防止を図るため、防疫体制の整備を進めます。

(6)農林水産業の生産拡大

全国的に生乳確保がひっ迫する中、震災による減産を補うべく緊急的に乳牛の増頭を図ります。

東日本大震災の被災地への復興用木材の安定供給を図ります。

(7)環境に配慮した森林づくりの推進

災害の発生等が懸念される森林について、強度の間伐や再造林を実施し針広混交林等に誘導するとともに、荒廃竹林の整備により景観の保全を図ります。

林業の持続的な経営と森林の公益的機能の回復を推進するため、林業適地における低コストでの再造林を促進します。

II. 事業体系（県政推進指針）

補正要求額 累計額

【安心・活力・発展の大分県づくりの推進】

1 互いに助け合い、支え合う安心・安全の大分県づくり

(5) 恵まれた環境の未来への継承

③ 環境に配慮した森林づくりの推進

—	荒廃人工林緊急整備事業	42,844	752,147
—	おおいた竹林再生モデル事業		61,166
—	(公) 再造林促進事業	109,560	219,120

(8) 危機管理の強化

① 災害に強い県土づくりの推進

—	新 地震対策ため池緊急整備事業	60,000	60,000
—	新 渇水緊急対策事業	50,000	50,000
—	県単治山事業	17,416	125,498

② 感染症・伝染病対策の確立

—	家畜伝染病緊急防疫体制整備事業		500,000
—	県産粗飼料流通拡大事業		9,821

2 いきいきと暮らし働くことのできる活力ある大分県づくり

(1) 知恵を出し、汗をかいてもうかる農林水産業の振興

① 「The・おおいたブランド」確立に向けた商品作りの推進

—	「The・おおいた」ブランド流通開拓・情報発信事業		29,738
—	環境にやさしい農業推進事業		7,468
—	豊後牛販売拡大推進事業		18,752
—	肉用牛繁殖経営支援事業		37,631
—	林業再生県産材利用促進事業	116,310	879,869
—	林業再生地域材活用住宅建設促進事業		110,000
—	県産材販路開拓総合対策事業		17,691
—	おおいたの魚商品力強化・利用拡大推進事業	4,802	10,171
—	地域養殖業振興対策事業	15,664	17,664

② 次代を担う力強い経営体づくり

—	新農業人材確保・経営継承対策事業		30,599
—	企業等農業参入推進事業		43,654
—	集落営農経営発展支援事業	29,996	70,318
—	次世代を担う園芸産地整備事業	335,663	542,717
—	緊急雇用園芸品目規模拡大推進事業		85,063
—	新 肉用牛生産効率化施設整備事業	67,329	67,329
—	肉用牛肥育総合対策事業	12,974	22,478
—	意欲ある林業事業体集中支援事業	105,385	106,530
—	椎茸生産基盤整備総合対策事業	60,000	112,386
—	漁業担い手確保育成活用事業		4,526

③ 効率的で持続性のある生産基盤・環境づくり

—	中山間地域等直接支払事業		1,727,494
—	(公) 農業農村基盤整備事業	2,843,061	10,048,769
—	森林シカ被害防止対策事業		94,513
—	鳥獣被害総合対策事業	144,425	419,985
—	林業再生路網整備事業	7,468	561,206
—	クルマエビ資源管理推進事業	9,931	17,038

【東日本大震災による影響への対応】

4 日本全体の活力の下支え

④農林水産物の生産拡大

—	新	震災対応乳量確保緊急対策事業	397,638	397,638
—	新	東日本大震災復興用木材輸送等支援事業	24,989	24,989

(注) 事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成23年度 農林水産部補正予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail: a15000@pref.oita.lg.jp (農林水産部農林水産企画課)

平成23年度 補正予算（一般会計）要求の主な事業概要

(部局名：農林水産部)

(単位：千円)

事業名	平成23年度 補正要求額 <累計額> (前年度当初)	補正要求の概要	所管課
1 荒廃人工林緊急整備事業	42,844 <752,147> (797,719)	公益的機能の低下及び災害の発生等が懸念される森林の整備を行い、より効率的に公益的機能が発揮できる健全な森林に誘導する。	森林整備室
2 (公) 再造林促進事業	109,560 <219,120> (219,120)	林業の持続的な経営と森林の公益的機能の回復を推進するため、林業適地において低コストでの再造林を実施する森林所有者に対し、森林環境税を活用した助成を行う。	森林整備室
3 (特) 地震対策ため池緊急整備事業	60,000 <60,000> (0)	老朽化したため池の安全性の向上を図るため、国庫補助事業の対象とならないため池(受益面積2ha未満)を改修する。	農村基盤整備課
4 (新) 渇水緊急対策事業	50,000 <50,000> (0)	記録的な少雨が続き、農業用ダムやため池の貯水率が低下し、畑作物をはじめ水稻等への影響が懸念されることから、緊急的に渇水対策事業を実施する市町村に対し助成する。	農村基盤整備課
5 (特) 林業再生県産材利用促進事業	116,310 <879,869> (898,152)	県産材の加工体制を整備するため、製材機械や木材乾燥機等の導入を支援する。	林産振興室
6 おおいたの魚商品力強化・利用拡大促進事業	4,802 <10,171> (8,600)	【新】県漁業協同組合が行う、プリフィレ加工工場を利用した県産魚の加工品開発と販売PRの取組を支援する。 また、「かぼすプリ」「かぼすヒラメ」の求評会の開催等によるブランド確立の取組を支援する。	漁業管理課
7 (特) 地域養殖業振興対策事業	15,664 <17,664> (0)	地域の適性に応じた養殖対象種を振興するため、環境に優しいマガキやヒジキ養殖を推進する。	水産振興課
8 集落営農経営発展支援事業	29,996 <70,318> (17,780)	経営基盤の強化を図るため、経営規模の拡大、新規品目の導入、集落間の連携に取り組む意欲的な集落営農法人が行う、農業機械・施設の整備などに対し助成する。	集落・水田対策室
9 次世代を担う園芸産地整備事業	335,663 <542,717> (0)	競争力のある園芸産地づくりを推進するため、企業的経営体の育成を主眼に、産地の拠点となるハウス等栽培施設や流通施設の整備を支援する。	園芸振興室
10 (新) 肉用牛生産効率化施設整備事業	67,329 <67,329> (0)	肉用牛経営の安定化を図るため、飼養規模拡大や省力化のための施設整備を行う肉用牛農家に対し助成する。 ・規模拡大のための施設 ・高品質な肉用牛を省力的に生産するための施設及び機械 ・大規模農場の病原体侵入防止施設	畜産振興課

平成23年度 補正予算（一般会計）要求の主な事業概要

(部局名：農林水産部)

(単位：千円)

事業名	平成23年度 補正要求額 <累計額> (前年度当初)	補正要求の概要	所管課
11 肉用牛肥育総合対策事業	12,974 <22,478> (11,870)	繁殖農家の経営と将来的な肥育頭数の増頭に資するため、新たに一貫経営に取り組む繁殖農家を支援する。 ・黒毛和種繁殖農家が肥育経営を開始する経費の一部を助成 ・一貫経営新規開始農家に対する指導体制の強化	畜産振興課
12 意欲ある林業事業者集中支援事業	105,385 <106,530> (130,390)	県産材の安定供給体制を整備するため、生産性向上に意欲的な民間林業事業者が行う高性能林業機械の導入に対し支援する。	林務管理課
13 椎茸生産基盤整備総合対策事業	60,000 <112,386> (83,163)	椎茸の品質向上と増産を図るため、乾燥機など生産施設の整備に対し助成する。	林産振興室
14 (公) 農業農村基盤整備事業	2,843,061 <10,048,769> (11,159,827)	既着工事業の早期完成に向け農道や用排水路等の整備を促進する。	農村基盤整備課
15 鳥獣被害総合対策事業	144,425 <419,985> (54,248)	イノシシ、シカ、サル等野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るためには、地域ぐるみでの取組が重要であることから、侵入防止柵の整備など地域における被害対策活動を推進する。	森との共生推進室
16 林業再生路網整備事業	7,468 <561,206> (740,000)	間伐等森林施業の効率化・低コスト化や森林資源の有効利用を図るため、作業道や簡易作業路等の路網整備を推進する。	森林整備室
17 (特) クルマエビ資源管理推進事業	9,931 <17,038> (0)	減少傾向にあるクルマエビ資源の回復を図るため、種苗放流の支援と資源管理の強化を一体的に行う資源管理強化型漁業を推進する。	水産振興課
18 (特) 震災対応乳量確保緊急対策事業	397,638 <397,638> (0)	東日本大震災や口蹄疫等による全国的な生乳供給量の減少に対応し初妊牛の緊急導入を支援し生乳生産量を確保するとともに、生産性の高い酪農経営体を育成するため、乳用雌牛の自家保留を促進する。	畜産振興課
19 (特) 東日本大震災復興用木材輸送等支援事業	24,989 <24,989> (0)	東日本大震災の復興に向けた製材品の安定供給に向け、県産製材品等の輸送等を支援する。	林産振興室

※(新)は「新規事業」、(特)は「おおいた活力創造枠事業」